

未知なる探検

弥栄ダム

10
21

33組85人の親子が参加した公衆衛生推進協議会主催の「市民ふれあい健康ハイキング」。

あいにくの雨で、ハイキング自体は中止したが、弥栄ダムを見学した。

普段見られないダムの内部に参加者は感嘆の声を上げていた。親子で参加した山田大智くん(防鹿)は「雨で残念だったけど、ダムの中のトンネルに入れて楽しかった」と話してくれた。



お気に入りの
かっぱだよ。



(上)通路の先には何が。
(下)操作室での説明。



いいもの釣れたよ。

10
22



ふれあいバザーコーナーでは、大竹高等学校の生徒が商業の課題探求講座で市内企業と共同開発した商品の販売を行った。講座の中で社長の役割をしている高橋輝くん(高3)は、「雨が降ったが売れ行きは好調です。今後、企業と交渉し商品化したい」と意気込みを語ってくれた。

健康と福祉を楽しく学ぶ「大竹ふれあい健康・福祉まつり」が開催された。
雨が降るなかであったが、血糖値や脳年齢などを測定するコーナーや健康相談コーナー、ボランティア体験コーナーなどに多くの人が訪れた。お孫さんと来ていた児玉喜信さん(元町1)は、「昨年も来たが、広報で開催を知って参加した。孫も楽しんでいる」と話してくれた。

応援します
あなたの健康づくり
サントピア大竹



開発した商品を販売。



測定で自分の体を調べる。

幼稚園児から高齢者まで多くの人が参加した「コーラスフェスティバル」。

声を合わせて
みんなで
ハーモニー

アゼリアホール

10
28

かわいい歌声。



魚も野菜も

採れたたてだ

マロンの里交流館

地元の野菜や米が並んだ「朝市inマロンの里交流館」。

天気も良く、普段はマロンの里交流館では見られない魚の販売などもあり大勢の人でにぎわった。

従業員の田中美乃里さんは「今回が初の試みとなる朝市ですが、魚も珍しく、たくさんの方が来てくれた。これから朝市は毎月第1土曜日に行うので、ぜひ来てもらいたい」と意気込みを語ってくれた。

初めての朝市。



11
4

新鮮な魚を購入。

天候にも恵まれ、約28,000人の来場者でにぎわった「コイこいフェスティバル・イン・おおたけ」。

ステージではさまざまなグループが演奏や踊りを披露し、屋外で行われた多くのアトラクションが来場者を楽しませた。今年からは、環境コーナードも設置、多くの人が廃材のリサイクルや自家発電などを体験し、環境問題について学んだ。

また、消防署周辺では消防フェアが開催され、放水体験などに多くの人に参加した。

岩国市から参加した日浦壮優くんは「自分で竹馬を作れたのがうれしかったです。家で練習します」と楽しそうに話してくれた。

笑顔いっぱい 幸せいっぱい

総合市民会館・消防署周辺



竹馬完成。

11
11

力の限りこいで発電。



大竹中学校吹奏楽部の演奏に酔いしれる。

消火訓練。



11
12



火災報知機を確認。

緊急時のために

訓練を

ヴェルディ大竹駅前 パークサイド

秋の火災予防運動期間中に行われたマンションでの消防訓練。

住民は消防隊と連携しながら、高層住宅の避難方法と消火方法を確認した。

マンションの管理組合理事長の前本直之さんは「昨年も避難訓練は行いましたが、今年は消防隊が参加されたことで、避難しながらの消火作業も確認できました。緊急時にきちんと避難ができるようにしたい」と語った。